

この本のとくちょう

『まるごと 日本のことばと文化』（『まるごと』）は JF 日本語教育スタンダードに準拠したコースブックです。『まるごと』には以下のような特徴があります。

● JF 日本語教育スタンダードの日本語レベル

『まるごと』は JF 日本語教育スタンダードの 6 段階(A1-C2) でレベルを表しています。『まるごと』（初中級）は A2 レベルと B1 レベルの活動で構成されています。

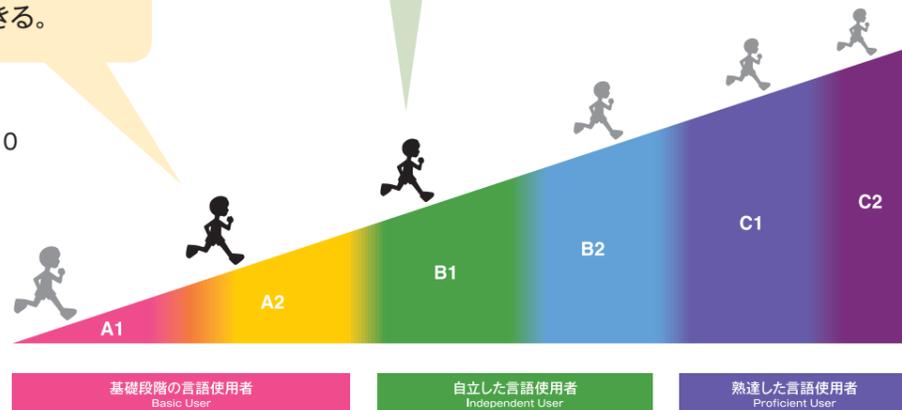
A2 レベル

- ・ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。
- ・簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。
- ・自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。

B1 レベル

- ・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要な点を理解できる。
- ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。
- ・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。

JF日本語教育スタンダード 2010
利用者ガイドブック [第三版]



● 『まるごと』 初中級の目的

初中級には以下の 2 つの学習目的があります。

- 1) 「かつどう」「りかい」入門 (A1)、初級 1/2 (A2) の復習と応用
- 2) 上のレベル (B1) への準備

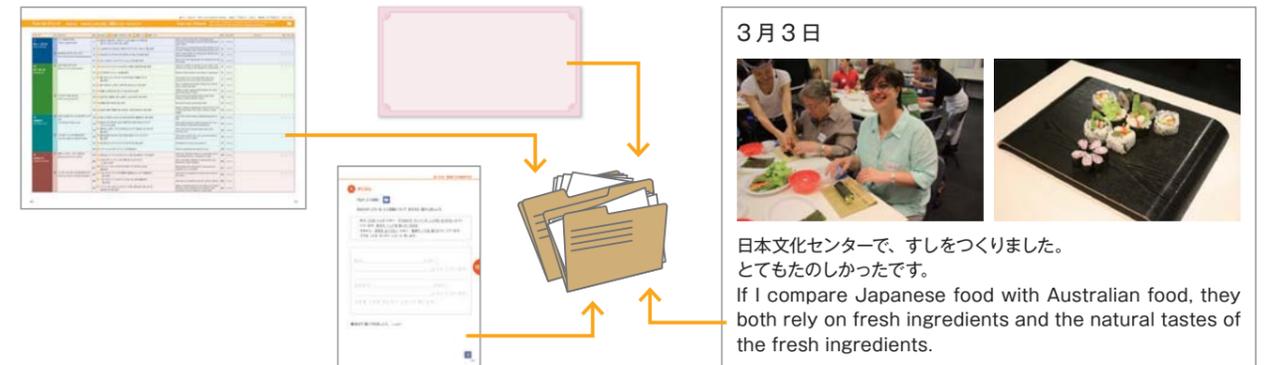
『まるごと』入門 (A1)、初級 1/2 (A2) には 2 つのコースブック「かつどう」と「りかい」がありますが、初中級は各々の学習方法を 1 冊にまとめました。Can-do も A2 と B1 の両方のレベルがあるので、いろいろな教室活動を通して学習することができます。また、成人学習者が自分の気持ち、状況、経験などをより豊かに表現できるように、各トピックに必要な語や文の形を導入しています。

● 異文化理解

『まるごと』は、ことばと文化を合わせて学ぶことを提案しています。会話の場面や内容、写真、イラストなど様々なところに異文化理解のヒントがあります。日本の文化について知り、自分自身の文化をふりかえて、考えを深めてください。

● 学習の自己管理

ことばの学習を続けるためには、自分の学習を自分で評価し、自分で管理することがとても重要です。ポートフォリオを使って、日本語や日本文化の学習を記録してください。ポートフォリオを見れば、自分の学習プロセスや成果がよくわかります。



この本のつかいかた

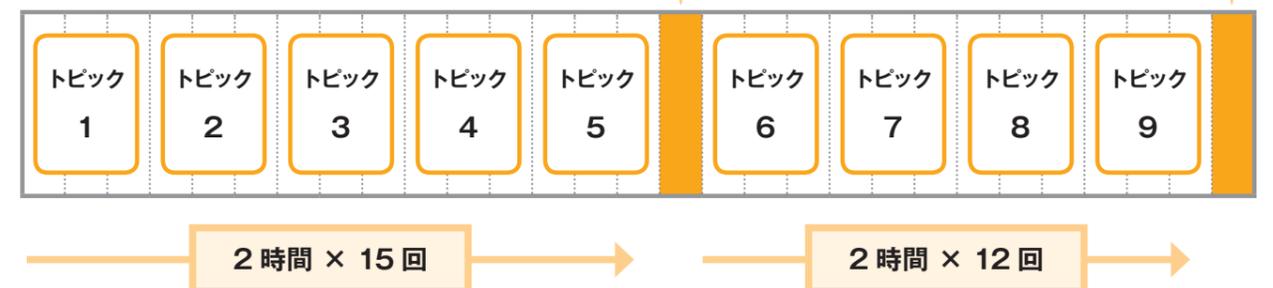
1 コースの流れ

この本を使ったコースは、コミュニケーション言語活動とコミュニケーションを支える言語構造（文法・句型など）の学習を進めていきます。

全部で 9 つのトピックがあります。1 トピックあたり 6 時間から 8 時間です。コースの中間と終了時には「テストとふりかえり」をします。

コースの例：

1 トピックを 2 時間の授業 3 回で
学習する場合 (全 29 回)



2 トピックの流れ

じゅんび

- ・写真を見て、トピックに関連した質問に答えて、学習の準備をします。
- ・トピックに必要なことばと漢字を学びます。



きいてはなす

各活動のCan-doを確認します。

会話を4つ聞きます。内容を理解すると同時に、会話の流れをつかみ、よく使われる表現に気づくことが大切です。会話は何度も聞きましょう。

会話を聞いて気づいた大切な文の形と意味を整理し、どんなルールがあるか発見します。

少し長い会話を聞きます。スクリプトは見なくて、おおまかに内容を理解してください。次にスクリプトを見て、会話の流れに合った表現を考えて、もう一度聞きます。会話は何度も聞きましょう。

会話で聞いた表現を使って、ペアかグループで話します。だ円形のふきだしは表現のバリエーションです。うまく言えなかったら、もう一度会話を聞いてみましょう。「トピックのまとめ」(p125-p132)の音声も利用できます。



ことばと文化
会話の中に現れる日本語の使い方の文化的な特徴について考えます。

トピック 2/3/4/5/7/9
自分のことについて、ペアかグループの人に話します。少し長く、くわしく話せるように、メモを書いて準備しましょう。メモはポートフォリオに入れます。

トピック 1/6/8
ペアかグループで会話を練習します。ことばや文を自分で変えて、少し長い会話に挑戦しましょう。また、特定の場面で必要な実用表現も学習します。

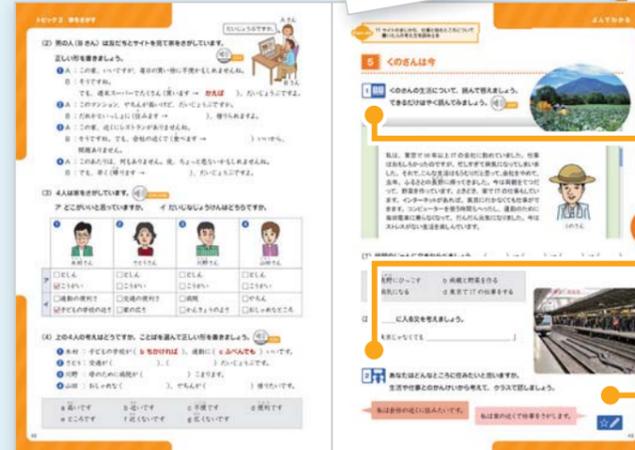
ここまで勉強したら、Can-do チェックをしてコメントを書きます。
Can-do チェック p162-p165 URL → p9

よんでわかる

トピックに関連した短い文章を読んで、内容を理解します。

文章の中の新しい文法・文型をこのトピックに結びつけて使えるように練習します。答えのチェックにも音声を使ってください。

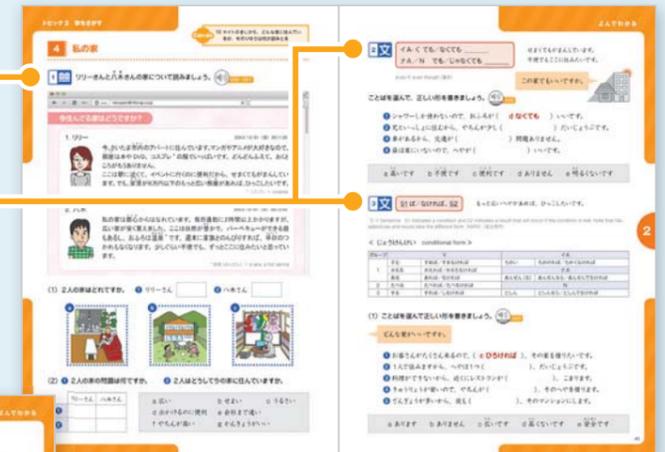
注意する語や表現



このトピックに関連した別の文章を読んで、内容を理解します。できるだけ早く読んでみてください。

読んだ内容について、自分の経験や考えをクラスで話します。

ここまで勉強したら、Can-do チェックをしてコメントを書きます。
Can-do チェック p162-p165 URL → p9



- 聞きましょう
- 言いましょう
- 読みましょう
- ポートフォリオに入れましょう
- おんせい 音声

- ことばの使い方のルールを発見しましょう
- メモを見て、スピーチをしましょう
- ぶんぼう ぶんけい べんきょう 文法・文型を勉強しましょう
- Can-do をチェックしましょう
- 聞いてチェックしましょう



3 異文化理解の活動

『まるごと』はことばと文化をいっしょに学ぶコースです。教室の外でも日本語を使ったり、日本文化を体験したりしましょう。

- ・日本のウェブサイトを見る
- ・日本のドラマや映画を見る
- ・日本料理のレストランに行ってみる
- ・日本関係のイベントに行ってみる
- ・日本人の友人や知り合いと話してみる

教室の外で体験したことをクラスの人と話してください。

4 学習の自己管理の方法

1) Can-do チェック

1回の授業が終わったら、Can-do チェック (p162-p165) を見て、チェックします。
また、自分の学習をふりかえて、コメントを書きます。コメントは何語で書いてもいいです。

コメントの例

- ・私の町でも手に入るもので、日本料理を作りたいと思った。
- ・空港でこまっている日本人を見たら、たすけられると思う。

トピック	年月日	コメント
1 スポーツの試合 Sports Games		
3		取消しを言ってやくそくをキャンセルする (B1)
4		スポーツの試合で好きなチームをおうえんする (A2)
5		自分が見たスポーツの試合について話す (A2)
6		おわびのメールとへんじのメールから、じつじと書いた人の気持ちを読みとる (B1)
7		外出の報告のメールから、じつじと書いた人の気持ちを読みとる (B1)

2) ポートフォリオ

日本語と異文化理解の学習や体験を記録し、ふりかえるために、ポートフォリオには以下のようなものを入れます。

- ① Can-do チェック
- ② テスト
- ③ 日本語を使って自分で書いたもの (例 会話の準備のメモ)
- ④ 日本語・日本文化の体験記録

5 テストについて

テストの方法と内容については、「テストとふりかえり」(p74-p75、p116-p117)、テストの問題例 (p160-p161) を見てください。

6 関連情報

『まるごと』ポータルサイト <https://www.marugoto.org/>

以下の『まるごと』関連リソースをダウンロードしたり、学習支援サイトにアクセスしたりできます (無料)。

● 教科書といっしょに使う教材

- ・音声ファイル
- ・会話の準備のメモ
- ・ごいインデックス
- ・ひょうげんインデックス
- ・かんじのことばリスト
- ・Can-do チェック

● 学習支援サイト

- ・「まるごと+ (プラス)」
- ・「まるごとのことば」

● 教師用リソース



この本の漢字表記について

(1) 『まるごと』入門、初級1、初級2で勉強した漢字……全課

(2) 新しい漢字……その漢字を勉強する課から

(3) 人の名前

いしかわ おがわ かわい かわの きやま すずき たなか なかむら のだ もり やぎ やまだ
石川、小川、川井、川野、木山、鈴木、田中、中村、野田、森、八木、山田

(4) 日本語の勉強のことば

かいは かたち かんじ こた しつもん ただ どっかい ひょうげん ぶん ぶんけい ぶんぼう いちど
会話、形、漢字、答え、質問、正しい、読解、表現、文、文型、文法、もう一度、
例、練習

(5) 「きいてはなす」の会話文 (2つ目) と「よんでわかる」の読解文

主にトピックと関係のある語をいくつか選び、ルビつき漢字表記にしています。